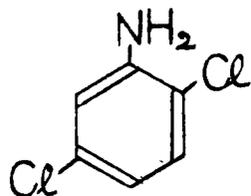


2, 5-ジクロロアニリンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年10月1日～昭和51年12月11日
 2. 試料名 2, 5-ジクロロアニリン (試料NoE-242)

分子式 $C_6H_5Cl_2N$

構造式



性状

- 純度 99.2% (ジアゾ化値)
 融点 48.2℃
 沸点 251℃
 比重 1.567
 溶解性 水に難容

(提示資料による)

3. 試験方法及び条件

- 環保業第5号 }
 業発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による。
 49基局第392号 }

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による。

(以下余白、次頁に続く)

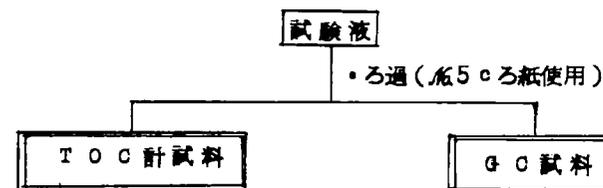
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TOC回路 200 ml/min

温度 TO炉 900℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 10%PEG-20M/クロモソルブW

ガラスカラム 2mmφ × 1m

カラム温度 180℃

4. 試験結果

	分解度(%)	付図	付表
酸素消費量による結果	0	1	-
TOC計による結果	(-)※	2	1
GCによる結果	(-)※	3	2

※負の値を得たので(-)とした。

5. 備 考

クローメーター取出し時のpHは次の通りであった。

- | | | |
|---|-------|-----|
| ③ | 水+試料 | 5.6 |
| ④ | 水+試料 | 5.6 |
| ⑤ | 汚泥+試料 | 6.9 |
| ⑥ | 汚泥+試料 | 6.9 |

以 上